

5-2 地区別整備計画

史跡英彦山は広範囲に渡り、さらにエリアによって特性が異なるため、対象範囲を特性に応じて以下のように区分し、現状を踏まえた整備方針及び整備計画を定める。

表 5-5 整備における地区区分

位置づけ	地区	構成要素
①歴史・文化の拠点	(1) 山頂聖域	英彦山神宮上宮／産霊神社(旧行者堂)／石階段／木鳥居
	(2) 修行窟	門窟／龍窟／五窟(大行事窟)／経窟
	(3) 英彦山神宮	英彦山神宮奉幣殿／英彦山神宮下宮／旧政所坊跡
	(4) 座主院跡	座主院跡／九州大学農学部付属彦山生物学実験施設／名勝庭園
	(5) 門前坊舎	楞嚴坊／浄境坊／財蔵坊／増了坊／了乗坊／松養坊／守静坊／名勝庭園
②活用の拠点	(1) 花駅(旧英彦山小学校)	山伏文化財室、昆虫展示室、ギャラリー、添田町観光ガイド英彦山総合案内所
	(2) 英彦山町	富士屋旅館／花山旅館
	(3) 英彦山修験道館	英彦山修験道館
	(4) 銅鳥居周辺駐車場	駐車場
③主動線	(1) 参道(境内と門前領域)	参道(境内と門前領域)
	(2) 登拝道(山中行場)	登拝道(山中行場)
④目的別動線	(1) 参道から座主院跡に至る動線	参道から座主院跡に至る動線
	(2) 英彦山神宮から修行窟に至る動線	英彦山神宮から修行窟に至る動線

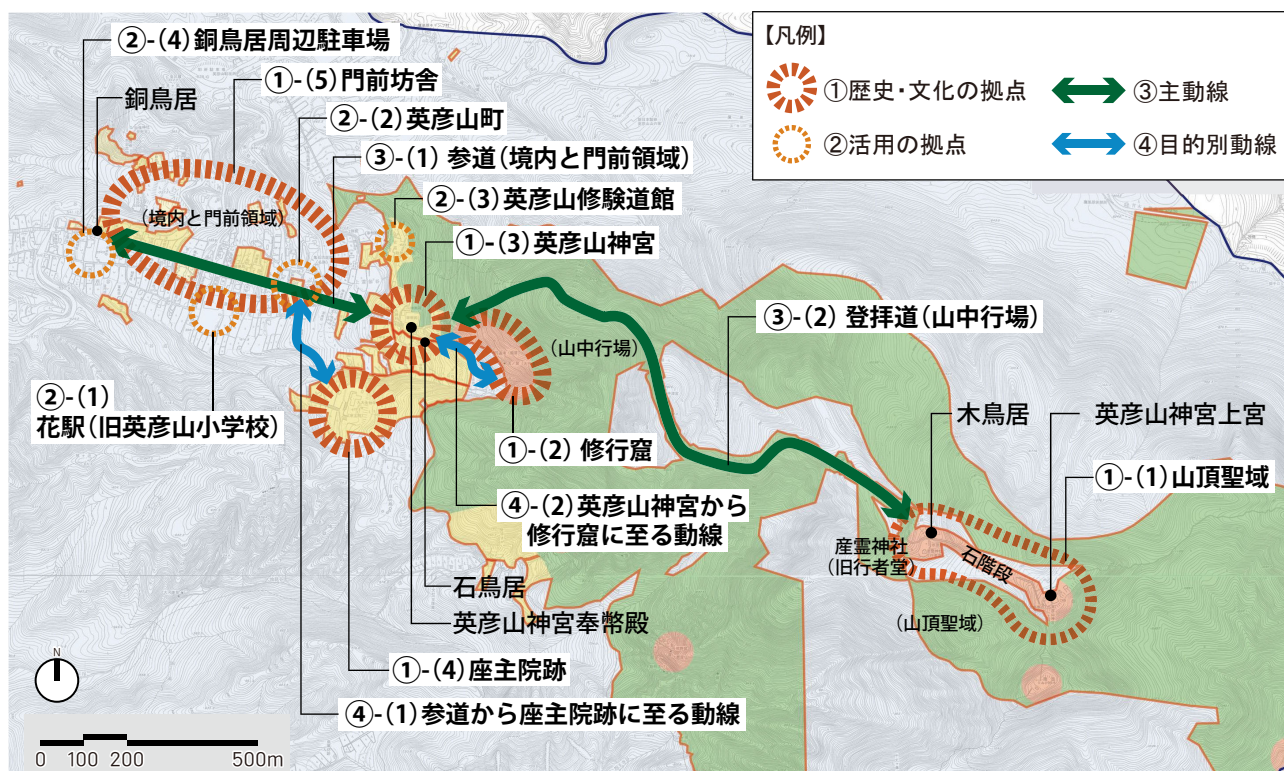


図 5-3 地区区分図

5-2-1 歴史文化の拠点

(1) 山頂聖域

【主な構成要素】

英彦山神宮上宮、産霊神社(旧行者堂)、備宿、石階段

【特性】

山頂に位置し、木鳥居より上部は仏界とする聖域。



英彦山神宮上宮

■現状

- 自然災害により、英彦山神宮上宮社殿や産霊神社（旧行者堂）等の建築物や工作物の劣化が著しく進行している。
- 自然災害や登山者のアイゼン等の影響による、石階段の毀損が著しい。
- 周辺一帯に、在来種であるブナの植樹が進められている。
- 史跡を説明するサインがない。

■整備方針

- 歴史的価値の高い史跡として、遺物、遺構の整備を行う。

□整備項目別計画

保存

- 英彦山神宮上宮本殿、拝殿を保存修理する。
- 石階段を保存修理する。
- 木鳥居を保存修理する。
- 防犯カメラや消火器の設置等適切な手法で管理を図る。
- アイゼンの使用規制等登拝道の適切な利用の啓発を図る。

修景および植栽

- 上宮社殿の周辺に放置された瓦礫などの片付けを行う。
- 在来種であるブナの植樹により、自然環境の再生を図る。
- 樹木の剪定や草刈り等を行い、修景を図る。
- 植栽の減伐や植樹を行う際は、地下遺構に配慮し整備を行う。

案内・解説施設

- 史跡の解説サインを整備する。
- 誘導サインを整備する。

管理施設

- 保護が必要な箇所は、柵を設置し、獣害や来訪者の立ち入りを防ぐ。

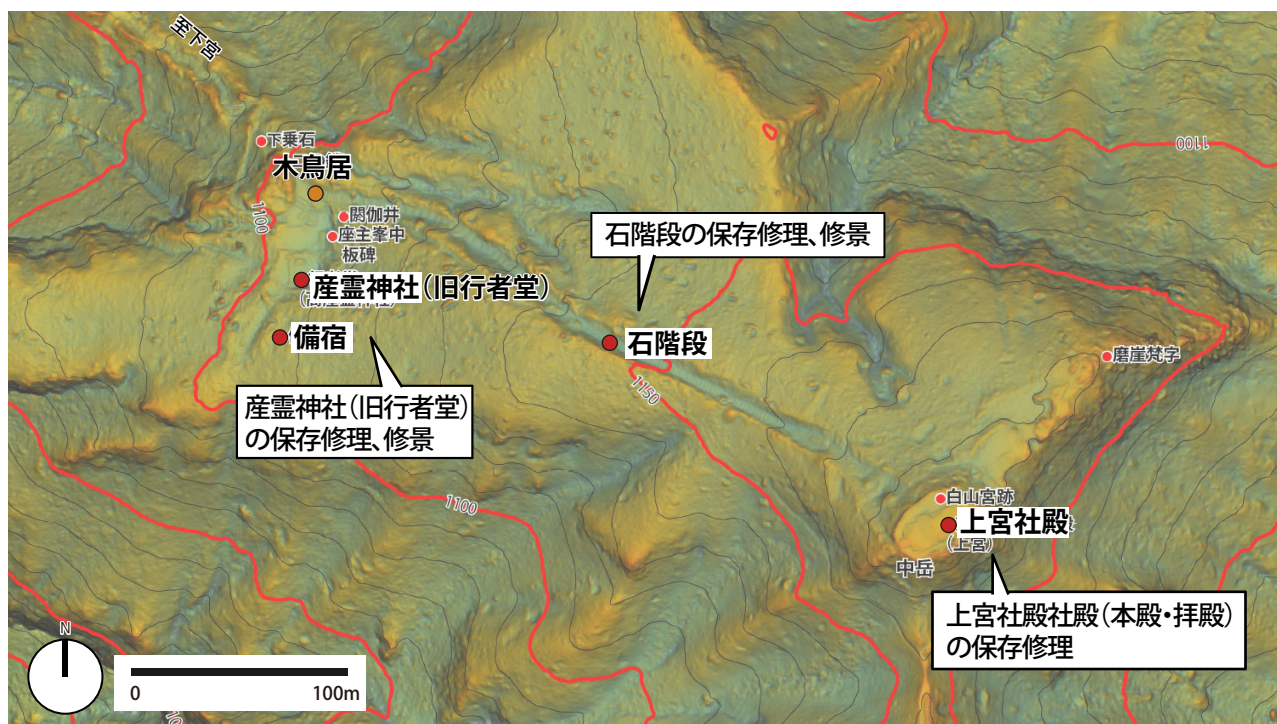


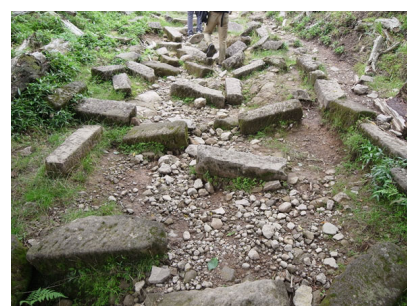
図 5-4 山頂聖域配置図



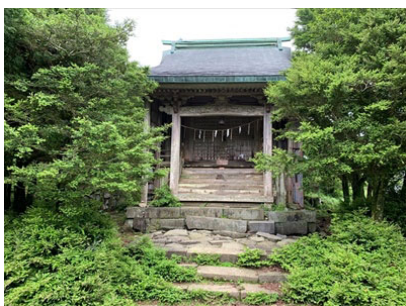
上宮社殿



上宮社殿周辺



石階段



産霊神社(旧行者堂)



産霊神社(旧行者堂) 境内



木鳥居

図 5-5 山頂聖域整備主要構成物

(2) 修行窟

【主な構成要素】

門窟、龍窟、五窟（大行事窟）、経窟

【特性】

4つの修行窟を有する、山伏修行の拠点であるエリア。



大行事窟

■現状

- 窟は比較的良好な状態で保たれている。
- 石積みが崩れかかっている箇所がある。
- 見学動線がない。
- 史跡を説明するサインがない。

■整備方針

- 修験を体験するための整備を行う。
- 見学動線の整備を行う。

□整備項目別計画

保存

- 石積みを保存修理する。
- 窟においては、現状保存を基本とする。
- 防犯カメラや消火器の設置等適切な手法で管理を図る。

修景および植栽

- 樹木の剪定や草刈り等を行い、修景を図る。
- 窟周辺を横断する防火用水配管を目立たないように整備する。
- 植栽の減伐や植樹を行う際は、地下遺構に配慮し整備を行う。

案内・解説施設

- 史跡を説明する解説サインを設置する。

公開活用および そのための施設

- 足場が悪い箇所や、石積みの保護が必要な箇所に木路及び木床を設置する。

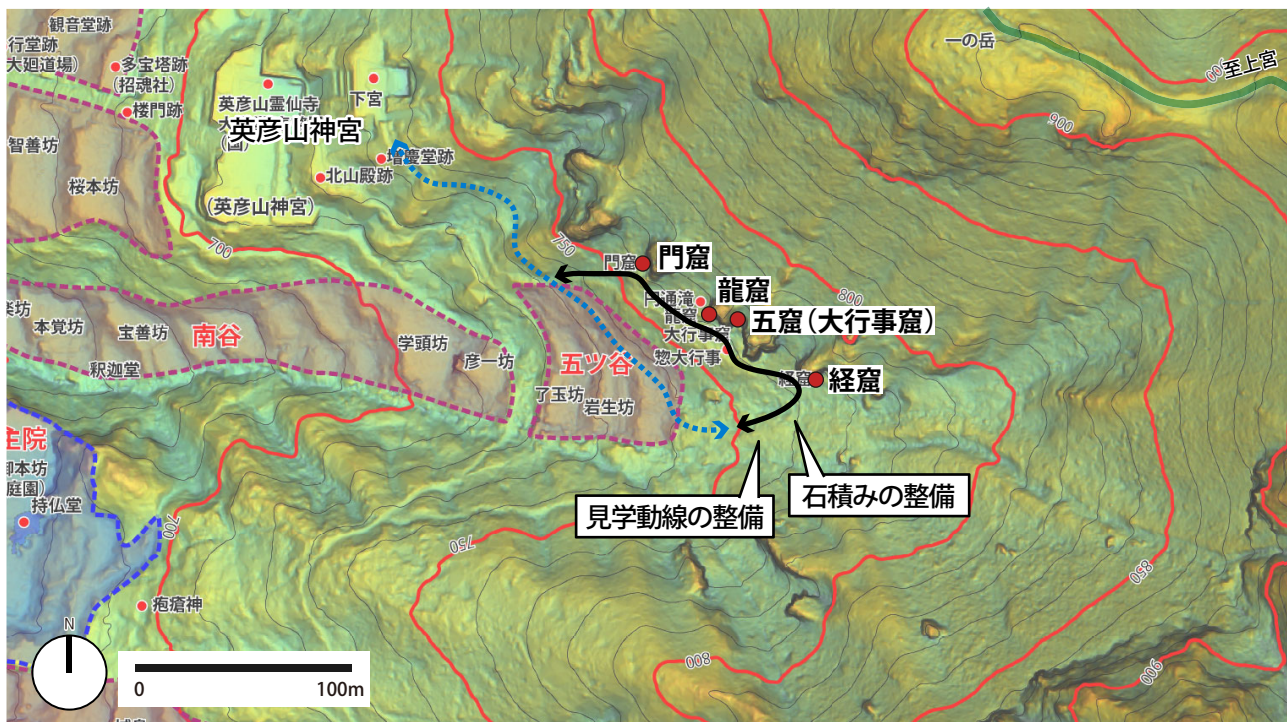


図 5-6 修行窟配置図



門窟



龍窟



経窟



窟周辺



既存の木床



防火用水配管

図 5-7 修行窟整備主要構成物

(3) 英彦山神宮

【主な構成要素】

英彦山神宮奉幣殿、英彦山神宮下宮、
旧政所坊跡、石鳥居

【特性】

観光客が最も多く訪れる、英彦山のシンボリック
エリア。



英彦山神宮奉幣殿

■現状

- 英彦山神宮奉幣殿の屋根の劣化が進んでいる。
- 英彦山神宮下宮の保存修理が進められている。
- 来訪者のための休憩スペースが不足している。

■整備方針

- シンボルである英彦山神宮奉幣殿、英彦山神宮下宮の保存修理を行う。
- 休憩施設の充実のための整備を図る。

□整備項目別計画

保存

- 英彦山神宮奉幣殿の屋根の保存修理を行う。
- 英彦山神宮下宮の保存修理を進める。

修景および植栽

- 樹木の剪定や草刈り等を行い、修景を図る。
- 植栽の減伐や植樹を行う際は、地下遺構に配慮し整備を行う。

案内・解説施設

- 史跡を説明する解説サインを設置する。

公開活用および そのための施設

- 休憩スペースの充実を図る。

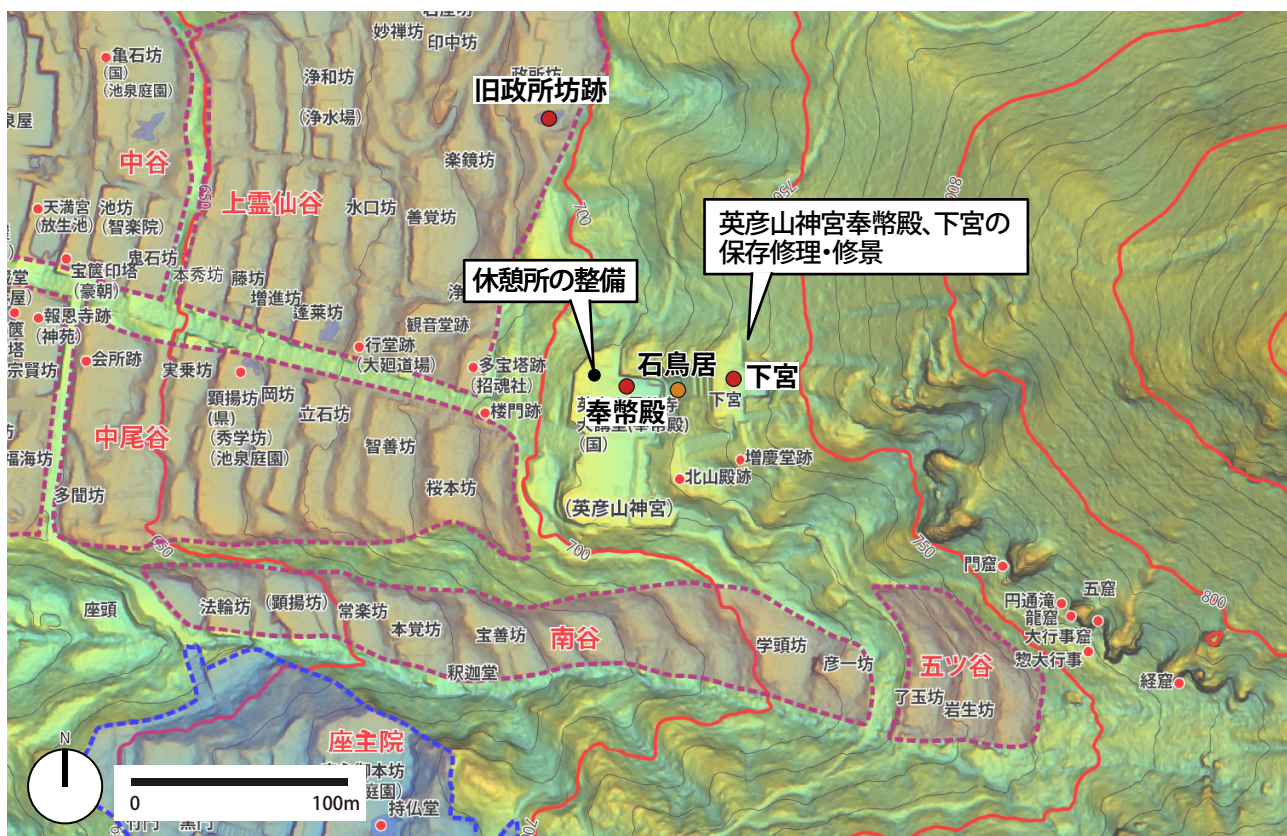


図 5-8 英彦山神宮配置図



英彦山神宮奉幣殿



英彦山神宮下宮



倉庫



社務所と休憩所



境内の様子



境内の様子

図 5-9 英彦山神宮整備主要構成物

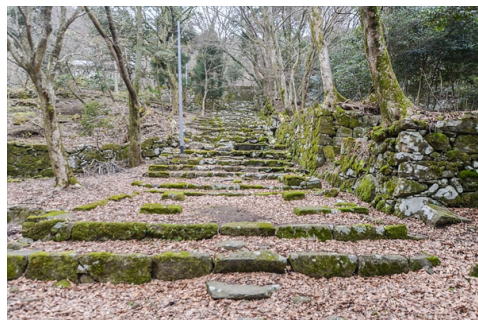
(4) 座主院跡

【主な構成要素】

座主院跡、九州大学農学部附属彦山生物学実験施設、名勝庭園

【特性】

英彦山座主の居所であった。現在、昆虫学の研究所である、九州大学農学部附属彦山生物学実験施設となっている。



座主院黒門跡

■現状

- 座主院跡の遺構は、比較的良好な状態で保たれている。
- 支障木による石垣等の毀損を招く恐れのある箇所がある。
- 一般公開されていない。
- 九州大学農学部附属彦山生物学実験施設が置かれている。

■整備方針

- 遺構保護への協力を求める。
- 整備費補助等、町が所有者を支援する際のルールづくりを行う。

□整備項目別計画

保存	○石垣等の毀損を招く恐れのある支障木の減伐及び枝払い等の協力を求める。
修景および植栽	○適切な植栽管理における協力を求める。 ○植栽の減伐や植樹を行う際は、地下遺構へ配慮した整備への協力を求める。
案内・解説施設	○史跡を説明する解説サインの設置について協力を求める。 ○座主院内のルート案内サインの設置について協力を求める。
公開活用およびそのための施設	○九州大学農学部附属彦山生物学実験施設の、生物標本や樹木標本等の展示室や庭園の公開への協力を求める。

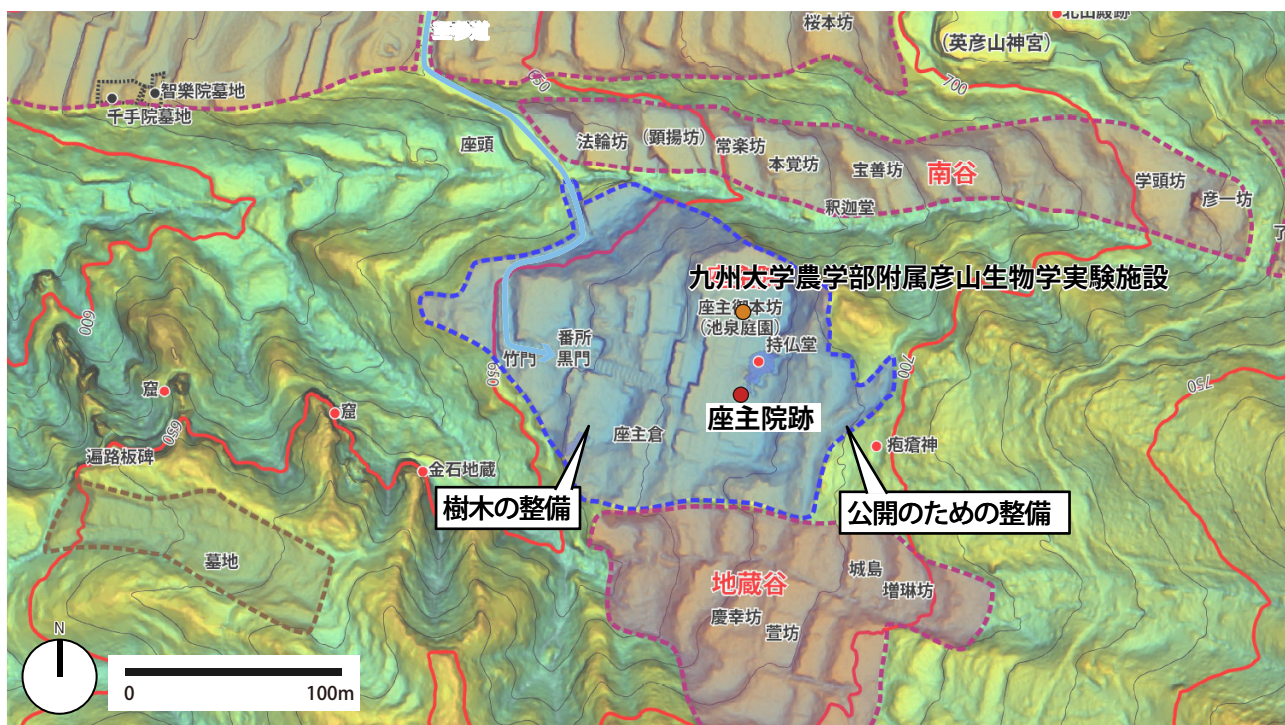
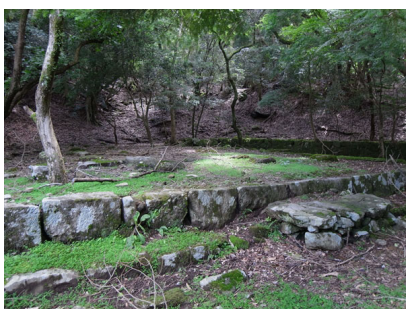


図 5-10 座主院ゾーン配置図



座主院御本坊跡



樹木標本園



英彦山図 文化14年(1817)以降 松浦史料博物館蔵 部分(座主院)

図 5-11 座主院整備主要構成物

(5) 門前坊舎

【主な構成要素】

楞嚴坊、浄境坊、財蔵坊、増了坊、了乗坊、松養坊、
守静坊、名勝庭園

【特性】

宿坊が立ち並ぶ昔の門前町。



財蔵坊

■現状

- 空き家となっている宿坊が多く、老朽化が進んでいる。
- 財蔵坊は町が所有し、公開されている。
- 石垣等の毀損を招く恐れのある箇所がある。
- 石垣が破損している箇所がある。
- 銅鳥居の老朽化が進んでいる。
- 史跡の構成全体を解説するサインがない。

■整備方針

- 現存する坊舎の保存修理について協力を求める。
- 観光拠点として利活用するための整備について協力を求める。
- 整備費補助等、町が所有者を支援する際のルールづくりを行う。

□整備項目別計画

保存

- 坊舎跡の保存修理について協力を求める。
- 石垣等の毀損を招く恐れのある支障木の減伐及び枝払等の協力を求める。
- 銅鳥居の毀損調査を行い、保存修理を図る。

修景および植栽

- 樹木の剪定や草刈り等、修景についての協力を求める。
- サクラやミツマタ等の在来種の植樹について協力を求める。
- 植栽の減伐や植樹を行う際は、地下遺構へ配慮した整備への協力を求める。

案内・解説施設

- 分かりやすい史跡の解説サインの設置について協力を求める。
- 既存の宿坊を利用したガイダンス機能や休憩スペースの導入における支援措置を検討する。
- 池泉庭園の整備について協力を求める。